

病院・高齢者施設における設計と運用の問題(その13)

～病室の年代別施設要求と使われ方の変遷について～

八木秀樹 辻野純徳 長谷川裕能 有限会社 UR 設計
江尻美恵子 藤本義秋 財団法人 倉敷中央病院

1.研究目的

倉敷中央病院において、1975年に第1棟(600床)、1992年に第2棟(201床)、2005年に9棟(220床)が増改築されてきた。各棟の計画において、医療法等の法規準、医療機能、療養環境のニーズは異なり時代の変遷とともに変化している。本研究においては各棟における病室への患者の要望、及びそれらを反映し計画された病室の施設条件を整理することにより、3期にわたる病室への患者要望・施設条件の変化を分析・報告する。

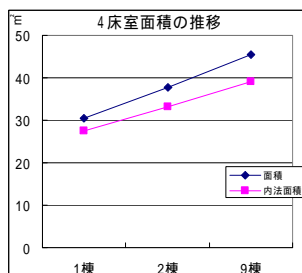
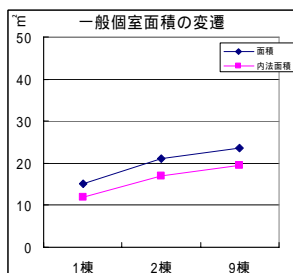
2.研究方法

各棟の病室比較

1.2.9棟の病室(個室・4床室)について、建築・設備・備品内容を比較し、その変遷を分析する。

アンケート調査

2.9棟の設計時及び竣工後に職員に対するヒアリングや患者に対するアンケートを行った。それらの結果を比較し、病室に対する患者要望の変遷を分析する。



各棟病室(個室・4床室)の平面図の変遷

	1棟 (1975竣工)	2棟 (1992竣工)	9棟 (2005竣工)
個室			
室面積	15.09m ² (5.24m x 2.88m) (内法面積 11.9m ²)	21.15m ² (6.61m x 3.2m) (内法面積 17.03m ²)	23.68m ² (7.4m x 3.2m) (内法面積 19.55m ²)
4床室			
室面積	30.44m ² (5.76m x 5.28m) (内法面積 27.43m ²)	37.67m ² (5.9m x 5.76m) (内法面積 33.1m ²)	45.41m ² (6.98m x 7.5m) (内法面積 38.98m ²)

9棟竣工後のアンケート内容(抜粋)

- 病室の大きさについて
 - 病室全体の広さについて
 - ベッドの両サイドの広さについて
 - ベッドの足元と壁の間隔について
 - 天井の高さについて
 - 病室全体の雰囲気はどうか?
- 照明について
 - 夜間の照明について
 - 就寝後の常夜灯について
 - 目障りな照明はありますか?
 - 読書灯について
- 音について
 - 気になる音・騒音はありますか?
 - a-1 昼間
 - a-2 夜間
- 病室内の設備について
 - 病室内に必要と思われる設備は
 - 照明スイッチ位置について
 - 照明スイッチの操作性について
 - 空調スイッチ位置について
 - 空調スイッチの操作性について
 - ナースコールの位置について
- 便所について
 - 位置について
 - 扉の使いやすさについて
 - 手洗について
 - ウォシュレットについて
 - 便器洗浄リモコンについて
 - 蓄尿槽について
- シャワーについて
 - 利用者について
 - 広さについて
 - 備品について
- 病室の流しについて
 - 流しはどの用途に使われていますか?
 - 水栓について
 - 流しの上の収納棚は使っていますか?
- 所持品の収納スペースについて
 - 所持品はどこに収納していますか?
 - 収納スペース(床頭台・ロッカー)に入らないものはありますか?
 - ロッカーに鍵は設けておりません、鍵が必要だと思いますか?
- 床頭台について
 - テレビの使用状況
 - DVDの使用状況
 - 冷蔵庫の使用状況
 - セキセイボックス(貴重品入れ)について
- 掲示物について
 - カレンダーはどこに掛けていますか?
 - 入院治療計画・クリカルパスや家族の写真等はどこに置いていますか?
- 見舞いの花等について
 - どこに置いていますか?
- 病室出入口の扉について
 - 扉の操作性について
- 窓について
 - 窓の操作性について
- 隣の建物との間隔について
- 現在使用の病室について施設・設備的に満足していますか?
- 病室について何か希望・要望があればお答え下さい。